

政策 05 環境と調和したまちづくり

施策 04 生活衛生環境の向上

あるべき姿

施策がめざす尾張旭市の姿
快適で衛生的な生活を営むことができます。

施策の成果状況と評価

グラフの凡例 前 後期基準値及び後期目標値 実績値

指標	快適な生活衛生環境だと思ふ市民の割合（％） 【環境課】	基準値 (H30)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R05)	対 基準値
		68.2	79.1	-	72	
評価	R4はまちづくりアンケート未実施のため、数値未取得					対 前年度 (比較不可)
		(比較不可)	目 標 達 成 度 (---)			

指標	生活衛生環境に関する事故件数（件） 【環境課】	基準値 (H30)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R05)	対 基準値
		0	0	0	0	
評価	前年度の実績値と同じく0件であった。					対 前年度 (向上)
		(向上)	目 標 達 成 度 (達成)			

指標	生活衛生環境に関する苦情の解決率（％） 【環境課】	基準値 (H30)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R05)	対 基準値
		98.8	98.6	98.4	98	
評価	(状況) 前年度実績と比べて0.2ポイント減少した。 (原因) 市職員による早期対応や関係者間の調整などを進め、 解決に努めてきたことに因るものである。					対 前年度 (横ばい)
		(横ばい)	目 標 達 成 度 (達成)			

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 地域住民による生活衛生環境の保全

グラフの凡例 前 後期基準値及び後期目標値 実績値

指標	生活衛生環境を保全する活動を行っている市民の割合（％）	基準値 (H30)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R05)	対 基準値
	【環境課】	54.4	21.0	-	60	
評価	R4はまちづくりアンケート未実施のため、数値未取得					対 前年度 (比較不可)
						目 標 達成度 (---)

基本事業01 地域住民による生活衛生環境の保全

指標	ペット・小動物に関する苦情件数（件）	基準値 (H30)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R05)	対 基準値
	【環境課】	31	36	19	25	☀️ (向上)
評価	(状況) 前年度と比べ、犬や猫に関する苦情件数は17件減少した。 (原因) 犬や猫に関する主な苦情内容は、犬の鳴き声や放し飼い、野良猫の餌やりであった。					対 前年度 (向上)
						目 標 達成度 (達成)

基本事業02 生活衛生環境の向上支援

指標	生活衛生環境の向上支援件数（件）	基準値 (H30)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R05)	対 基準値
	【環境課】	1,329	1,582	1,582	1,600	☀️ (向上)
評価	(状況) 前年度実績と同じであった。 (原因) 各事業の周知啓発が浸透していることが要因である。					対 前年度 (横ばい)
						目 標 達成度 (---)

基本事業03 公害の防止

指標	公害に関する苦情件数（件）	基準値 (H30)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R05)	対 基準値
	【環境課】	87	73	63	60	☀️ (向上)
評価	(状況) R3年度と比べ10件減少したが、令和5年度目標値より3件上回った。 (原因) 公害苦情解決率については、苦情に対して適切に対応し、一つ一つの案件に正確、丁寧、迅速に行動を起こしたことにより、高い水準で推移している。ふん害対策については、イエローチョーク作戦が周知されてきたことにより、引き続き低水準であった。					対 前年度 (向上)
						目 標 達成度 (---)

基本事業04 墓園の管理

グラフの凡例 前 後期基準値及び後期目標値 実績値

指標	区画墓園利用率（％）	基準値 (H30)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R05)	対 基準値
	【環境課】	88	86	86	90	(横ばい)
評価	(状況)前年度の実績値に比べ、変動はなかった。 (原因)需要に応じた使用者募集を行ったが、新たに決定した区画は20区画と前年度と比較して4区画分減少し、また、返還が30件あり、利用率が減少したためである。					対 前年度
		(横ばい)	目 標 達 成 度	(---)		

基本事業04 墓園の管理

指標	合葬式墓地の利用許可数（件）	基準値 (H30)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R05)	対 基準値
	【環境課】	0	753	853	750	(---)
評価	(状況)前年度実績から100件増加した。 (原因)募集数に対する応募者数は前年度より減少している。市内での需要を満たしたことによるものである。					対 前年度
		(向上)	目 標 達 成 度	(達成)		

基本事業04 墓園の管理

指標	墓園維持管理に関する苦情件数（件）	基準値 (H30)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R05)	対 基準値
	【環境課】	23	44	26	20	(低下)
評価	(状況)前年度の実績値に比べ、現状値が18件減少した。 (原因)ごみ集積所を改めて設置するとともに、維持管理や樹木伐採、修繕、看板設置等により、利用環境が向上したことによる。					対 前年度
		(向上)	目 標 達 成 度	(---)		

基本事業05 し尿処理施設の管理

指標	施設維持管理に関する障害件数（件）	基準値 (H30)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R05)	対 基準値
	【環境事業センター】	0	0	0	0	(横ばい)
評価	(状況)施設の老朽化が進み、修繕箇所が増加している (原因)長期修繕計画に基づく定期修繕の実施や、早期発見・早期対応による緊急修繕を実施したため、重大な障害の発生は未然に防ぐことができています。					対 前年度
		(横ばい)	目 標 達 成 度	(達成)		

基本事業05 し尿処理施設の管理

グラフの凡例 前 後期基準値及び後期目標値 実績値

指標	し尿等の搬入量（千kl） 【環境事業センター】	基準値 (H30)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R05)	対 基準値
			16	15	13	15
評価	(状況) 減少傾向となった。 (原因) 公共下水道の整備促進によりし尿等の搬入量は減少しているが、生し尿の若干の増加がみられる。	(千kl) 				対 前年度